

# 2022年3月期第2四半期 決算補足説明資料

株式会社インプレスホールディングス

2021年11月10日

# 免責事項

本資料の取り扱いについて 本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向及び市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動する可能性があります。当社は、本資料の情報の正確性あるいは完全性について、何ら表明及び保証するものではありません。

# 2022年3月期第2四半期業績

# 2022年3月期第2四半期連結業績

単位：百万円

	21/03期 第2四半期	22/03期(当期) 第2四半期		
	実績	実績	前期比	
売上高	6,512	<b>6,982</b>	<b>+7.2%</b>	<b>+469</b>
営業利益	398	<b>516</b>	<b>+29.5%</b>	<b>+117</b>
経常利益	433	<b>551</b>	<b>+27.4%</b>	<b>+118</b>
当期純利益	244	<b>603</b>	<b>+146.8%</b>	<b>+359</b>

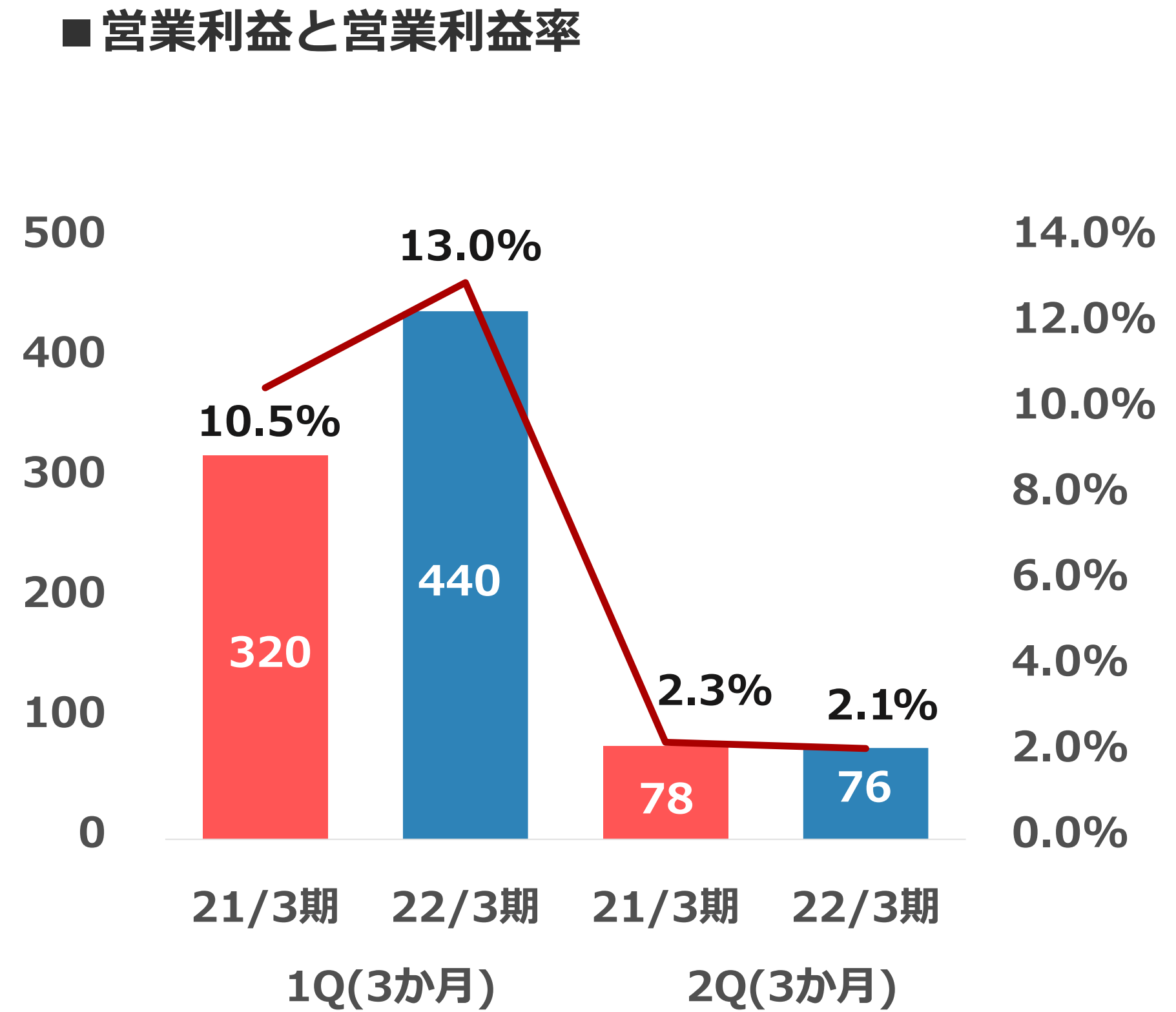
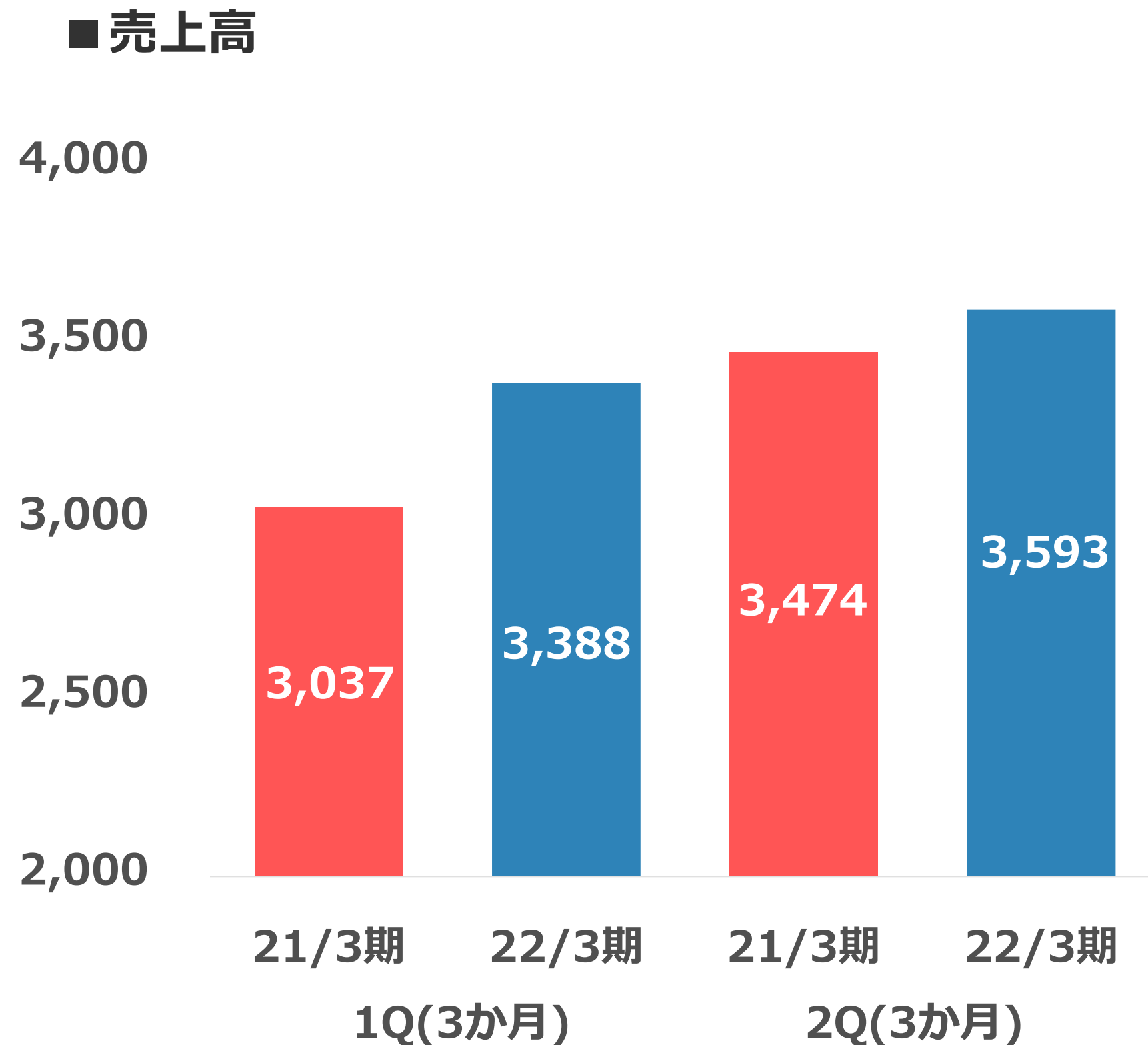
※「収益認識に関する会計基準」等を22/03期第1四半期の期首から適用。

21/03月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で、遡及適用前と比べて、売上高は273百万円減少、営業利益、経常利益は各234百万円減少。

※イカロス出版の子会社化により、負ののれんの発生で特別利益187百万円を計上

# 連結業績推移（売上高・営業利益・営業利益率）

単位：百万円

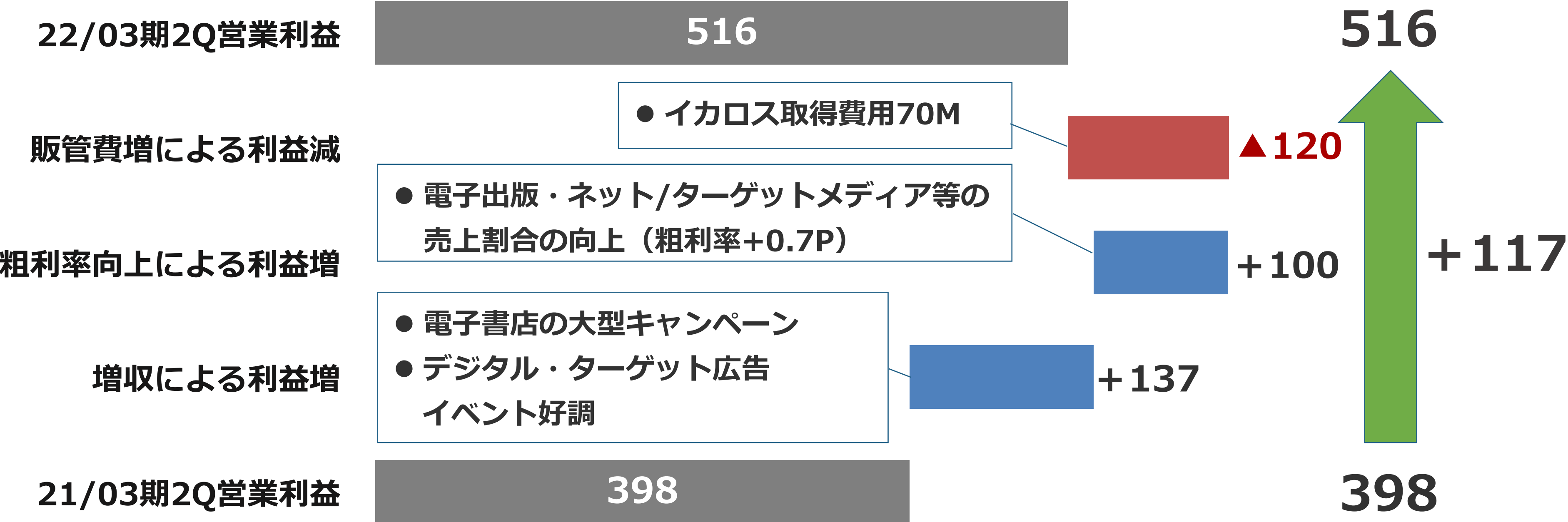


# 2022年3月期第2四半期業績ハイライト

- 連結売上高は6,982百万円（前期比7.2%/ + 469百万円）
- 各段階利益で前期を上回り、営業利益は516百万円（前期比29.5%/ + 117百万円）
- コロナ禍の巣ごもり需要は一巡しつつあるものの、出版は大型ムック刊行で増収、デジタル/ターゲット広告・イベント収入は好調を維持
- 電子書店の大型キャンペーンによる電子出版の増収も業績を後押し
- 一方、電子コミックPFは売上計上方法変更、巣ごもり特需等の反動で大きく減収
- イカロス出版の子会社化により、取得費用で70百万円の営業費用が発生したものの、負ののれんの発生で特別利益187百万円を計上

# 22/03期2Q\_営業利益の増減要因

単位：百万円



● イカロス取得費用70M

● 電子出版・ネット/ターゲットメディア等の  
売上割合の向上 (粗利率+0.7P)

● 電子書店の大型キャンペーン  
● デジタル・ターゲット広告  
イベント好調



# 事業区分・セグメント別業績概要



# 2022年3月期第2四半期 事業区分別連結売上高

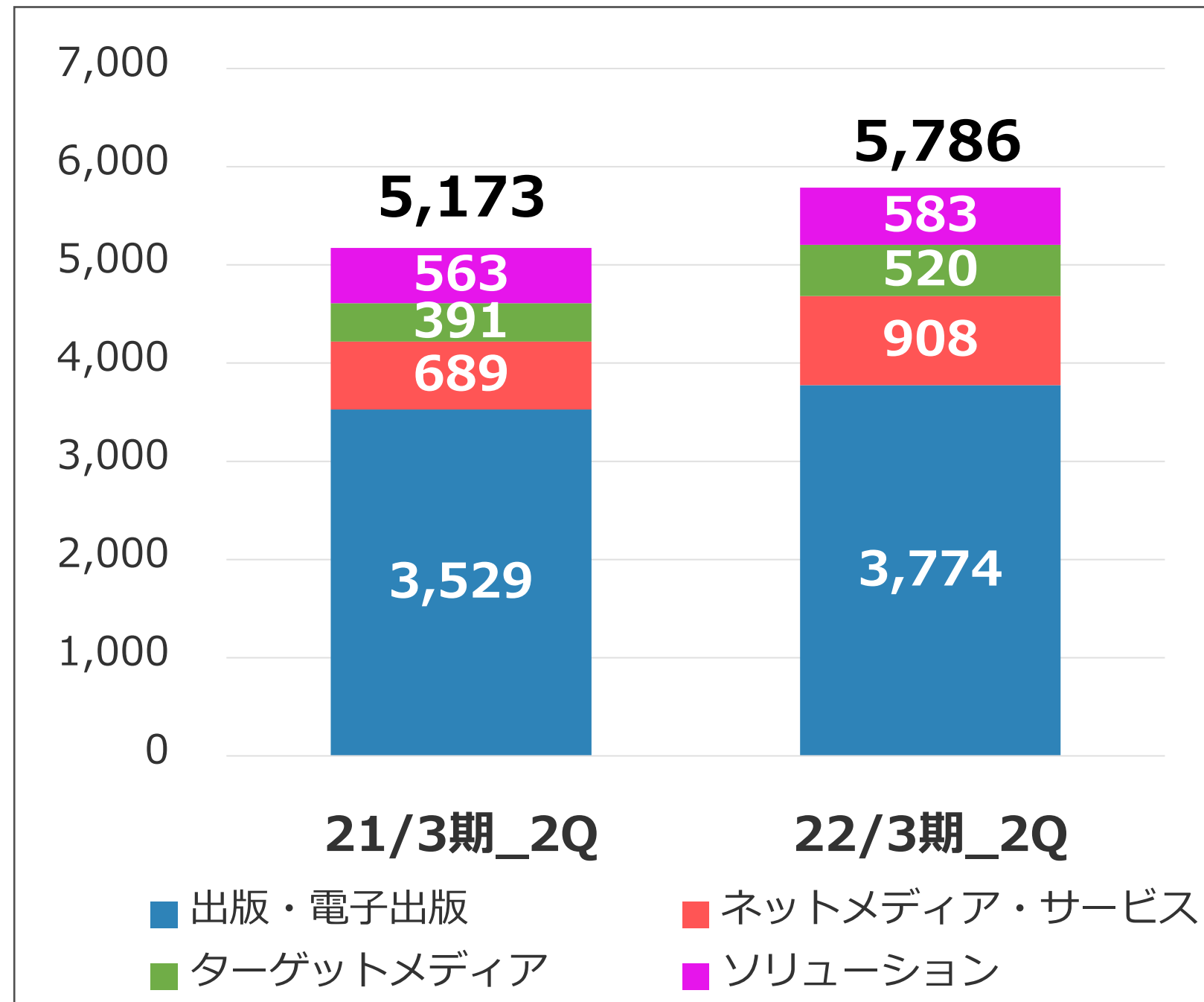
単位：百万円

事業区分	21/03期 第2四半期	22/03期(当期) 第2四半期		
	実績	実績	前期比	
コンテンツ事業	5,173	5,786	+11.9%	+613
出版・電子出版	3,529	3,774	+7.0%	+245
ネットメディア・サービス	689	908	+31.8%	+219
ターゲットメディア	391	520	+32.9%	+128
ソリューション	563	583	+3.6%	+20
プラットフォーム事業	1,339	1,195	▲10.7%	▲143
合計	6,512	6,982	+7.2%	+469

# 22/03期2Q\_事業区分別売上高：コンテンツ事業

単位：百万円

## ■コンテンツ事業売上高



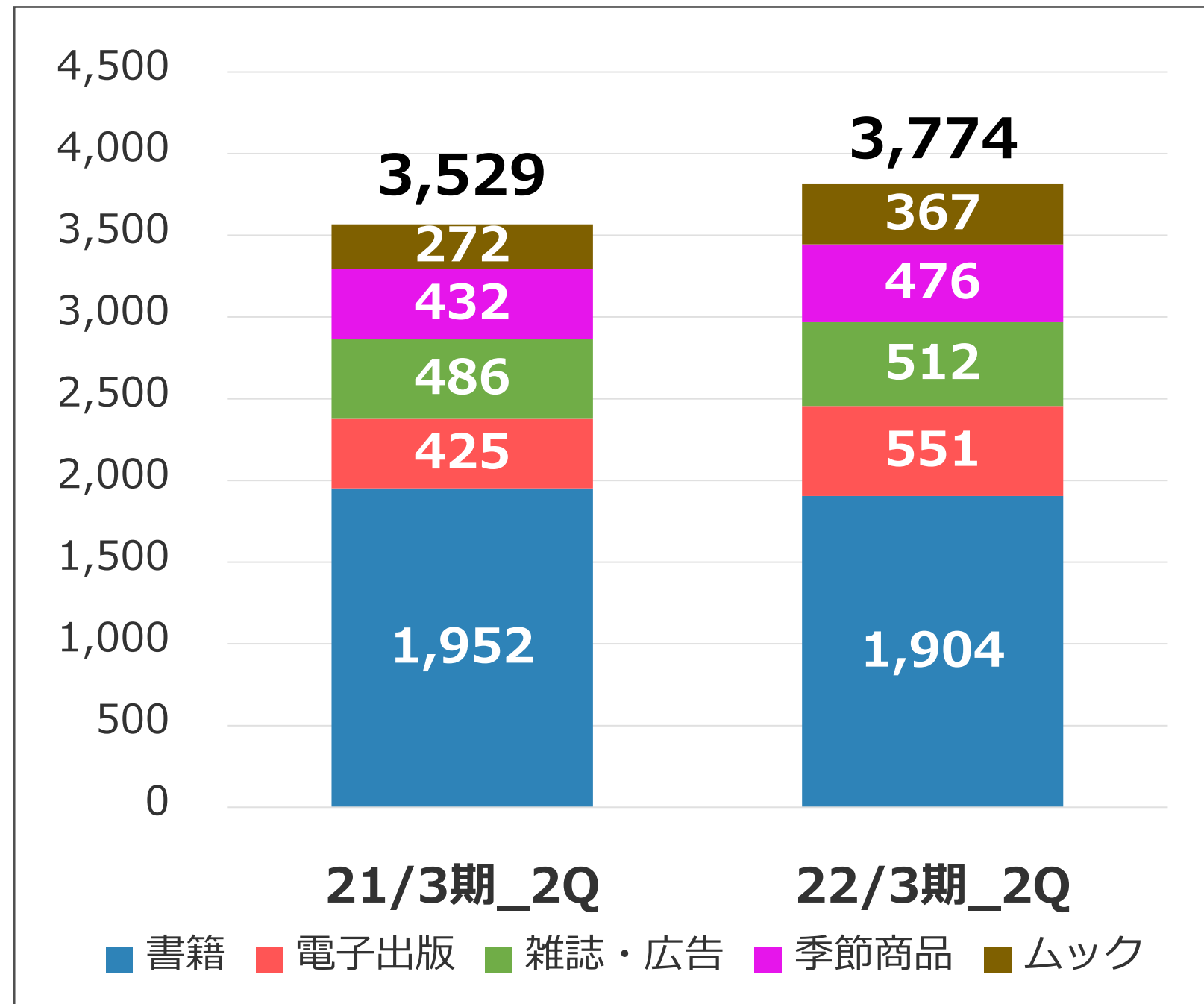
### コンテンツ事業：+12%（+613M）の大幅増収 ※全区分で増収

- 出版・電子出版：+7%（+245M）の増収  
電子書店の大型キャンペーン等により電子出版の販売が増加のほか、音楽・山岳セグメントの大型ムックも貢献
- ネットメディア：+32%（+219M）の増収  
ITセグメント：主力のImpressWatchのデジタル広告が好調を継続、音楽セグメントの新規サービス堅調
- ターゲットメディア：+33%（+128M）の増収  
ITセグメント：ターゲット広告、イベント収入とともに好調を継続

# 22/03期2Q\_事業区分別売上高：コンテンツ事業\_出版・電子出版

単位：百万円

## ■コンテンツ事業：出版・電子出版売上高



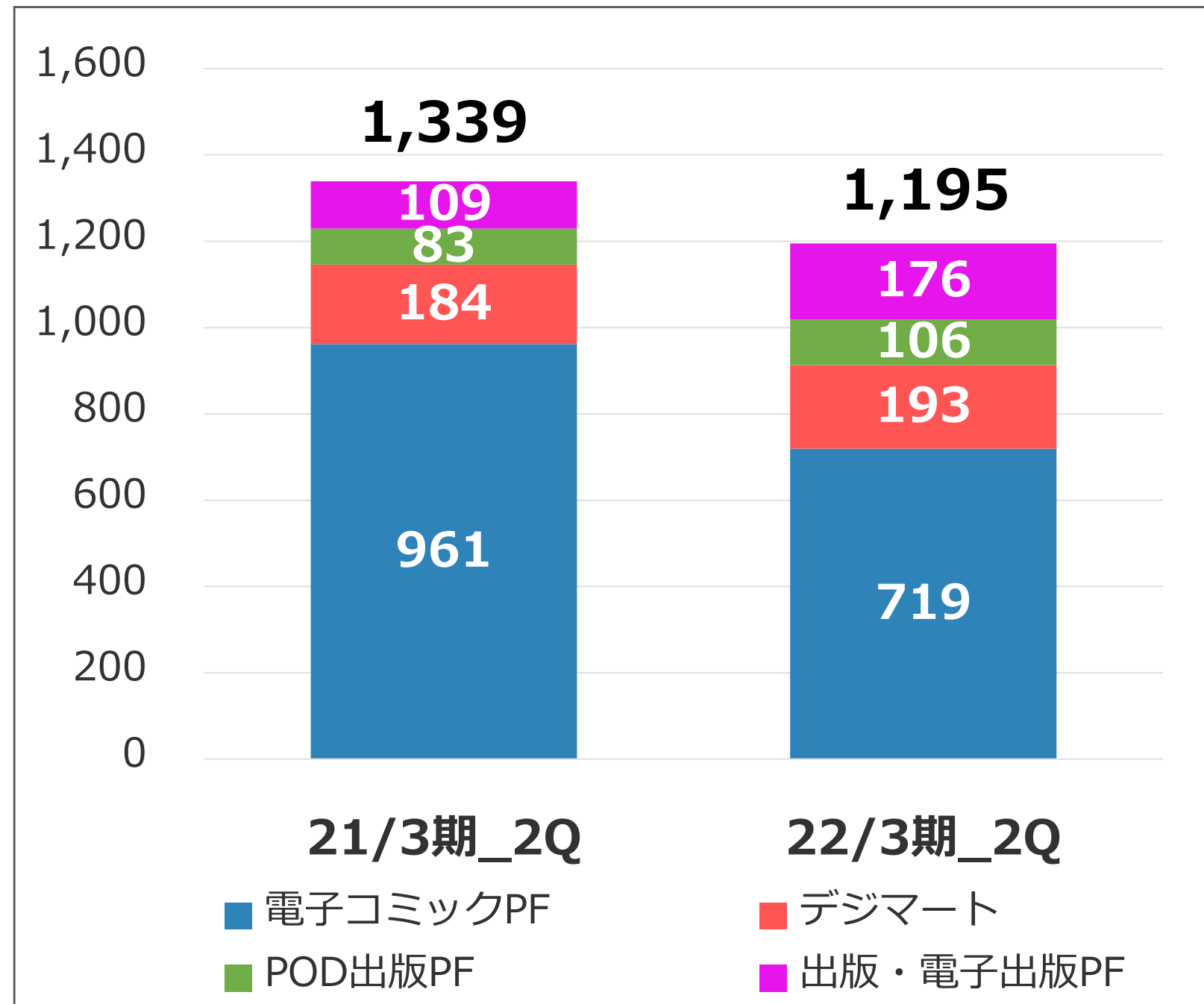
### 出版・電子出版：+7%（+245M）の増収

- 書籍：▲2%（▲47M）の減収  
巣ごもり需要の一巡で既刊書籍の出荷が減少
- 電子出版：+30%（+125M）の大幅増収  
電子書店の大型キャンペーン等により好調維持
- 雑誌・広告：+5%（+26M）の増収  
コロナ禍における刊行の中止等もなく刊行点数が増加
- 季節商品：+10%（+44M）の増収  
カレンダーの刊行点数増加、初動の出荷好調
- ムック：+35%（+95M）の増収  
音楽・山岳セグメントで大型ムックの刊行

# 22/03期2Q\_事業区分別売上高：プラットフォーム事業

単位：百万円

## ■プラットフォーム事業売上高

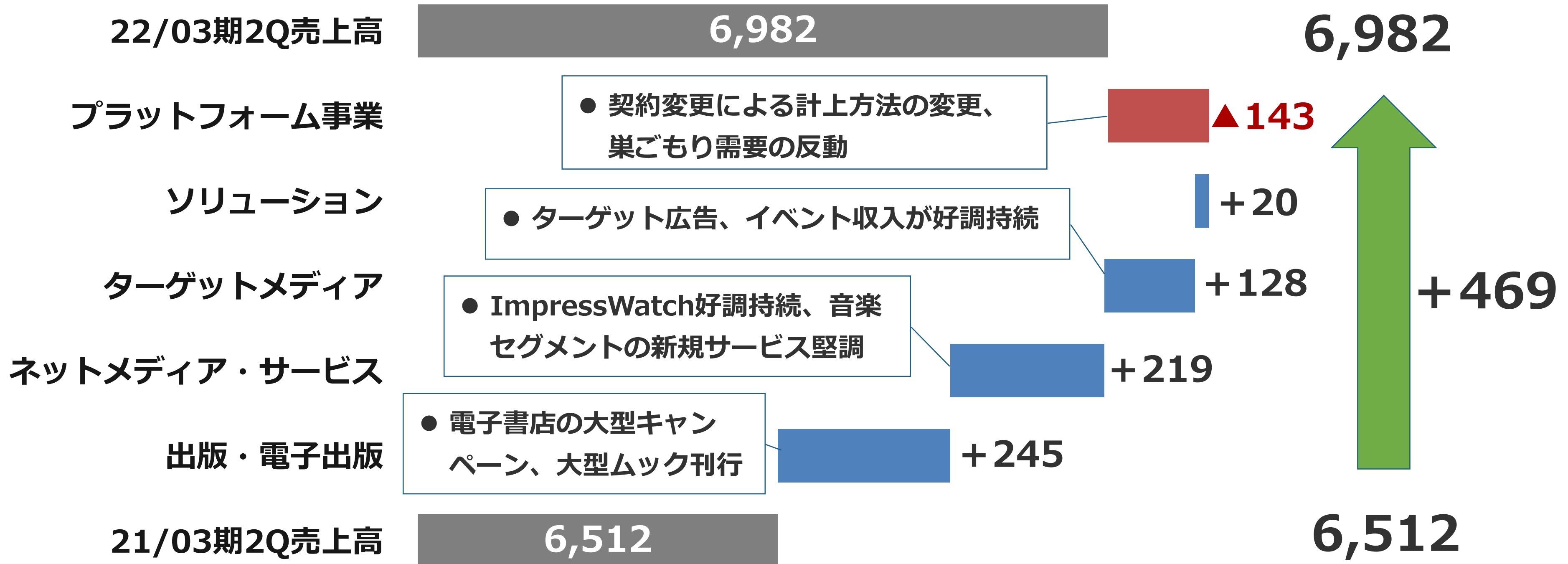


### プラットフォーム事業：▲11% (▲143M) 電子コミックPFが契約変更等で大きく減収

- 電子コミックPF：▲25% (▲242M) の減収  
契約変更による売上計上方法の変更と巣ごもり特需の反動等で大きく減収、海賊版サイトの影響も懸念事項
- デジマート：+5% (+8M) の増収  
楽器店からの決済サービス収入が増加
- POD出版PF：+27% (+22M) の増収  
ユーザー数と出版点数が好調に推移
- 出版・電子出版PF：+61% (+66M) の増収  
パートナー出版社の拡大により規模が拡大

# 22/03期2Q\_事業区分別売上高の増減サマリー

単位：百万円



# 2022年3月期第2四半期 セグメント別売上高・営業利益

単位：百万円

セグメント区分	売上高		営業利益	
	金額	前期比	金額	前期比
IT	3,061	+14.9%	566	+270
音楽	1,029	+19.2%	59	+75
デザイン	531	+10.5%	8	▲43
山岳・自然	992	+11.3%	73	+34
モバイルサービス	824	▲24.6%	161	▲84
その他	621	+0.7%	▲6	▲2
全社 + 消去	▲78	—	▲347	▲131
合計	6,982	+7.2%	516	+117

# 2022年3月期連結業績予想

# イカロス出版の株式取得に伴う連結上の取扱いについて

## ■ 当期連結決算における取扱い

- 第2四半期末にBS連結を開始
- 損益は、21/10～22/03までの6か月の業績を連結

## ■ 事業セグメントの取扱い

- イカロス出版の子会社化に伴い、新規の事業セグメント「航空・鉄道」を新設
- 「航空・鉄道」はイカロス出版と天夢人で構成

## ■ 当期業績への影響について

### □ 当第2四半期決算において発生した影響

- 取得費用（営業費用：仲介手数料等） ⇒ 70百万円
- 負ののれんの発生益（特別利益） ⇒ 187百万円

### □ 当期第3～4四半期の業績予想に織り込んだ影響

- 売上高 ⇒ 500百万円
- 営業利益 ⇒ ▲40百万円



# 22/03期連結業績予想：前回予想からの修正内容

単位：百万円

※21/5公表の期首予想から変更

	通期			上半期			下半期		
	今回修正	前回発表	増減	実績	前回発表	増減	今回修正	前回発表	増減
売上高	14,700	14,050	+650	6,982	6,800	+182	7,717	7,250	+467
営業利益	750	650	+100	516	330	+186	233	320	▲86
経常利益	850	750	+100	551	350	+201	298	400	▲101
当期純利益	850	600	+250	603	300	+303	246	300	▲53

※直近の業績動向に、イカロス出版の21/10～22/03（6ヶ月）の業績予測を加味し、修正。

イカロス出版の予測値：売上高500百万円、営業損失▲40百万円

# 22/03期連結業績予想：前期からの増減

単位：百万円

	通期			上半期			下半期		
	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減
売上高	14,700	13,850	+849	6,982	6,512	+469	7,717	7,338	+379
営業利益	750	822	▲72	516	398	+117	233	423	▲189
経常利益	850	931	▲81	551	433	+118	298	498	▲200
当期純利益	850	676	+173	603	244	+359	246	431	▲185

※直近の業績動向に、イカロス出版の21/10～22/03（6ヶ月）の業績予測と新しい働き方(ABW)投資を加味。  
イカロス出版の予測値：売上高500百万円、営業損失▲40百万円、ABW投資：▲60百万円

# 22/03期下半期の売上見通し（事業区分別・前期比）

単位：百万円

22/03期下半期

7,717

7,717

イカロス出版

● 下期（6ヶ月間）の売上高

+500

プラットフォーム事業

● 電子コミックPFの減収  
トレンドが継続

▲123

ソリューション

+46

ターゲットメディア

● 好調な前期を上回る水準

+6

ネットメディア・サービス

+30

出版・電子出版

● 電子出版堅調も、雑誌及び既刊書籍等の減収トレンドが継続

▲82

+379

21/03期下半期

7,338

7,338

# (参考資料) 当社グループの概要

# 当社グループの「セグメント」と「事業」





# コンテンツ事業 [メディア&サービス事業]

出版・電子出版



専門書籍・雑誌



電子書籍



年賀状ムック  
カレンダー



# コンテンツ事業 [メディア&サービス事業]

ネットメディア・サービス



デジタル総合  
ニュース

登山

デザイン

エンタメ



# コンテンツ事業 [メディア&サービス事業]

ターゲットメディア

## IT Leaders



調査報告書

## インプレス SmartGrid ニュースレター

**SmartGridフォーラム2020**

脱炭素と再エネ100%社会をどう実現するか！  
-SDGsをバックアップする技術イノベーション-

開催概要

イベント名	SmartGridフォーラム2020 (ウェビナー) 脱炭素と再エネ100%社会をどう実現するか！ -SDGsをバックアップする技術イノベーション-
日時	2020年11月5日(木) 13:30~
開催形式	ライブ配信ウェビナー
主催	SmartGridニュースレター編集委員会 委員長 江崎 浩 東京大学大学院 理工学系研究科 教授 副委員長 西 宏章 慶應義塾大学 理工学部 教授

イベント・セミナー



ビジネスメディア



# コンテンツ事業 [ソリューション事業]

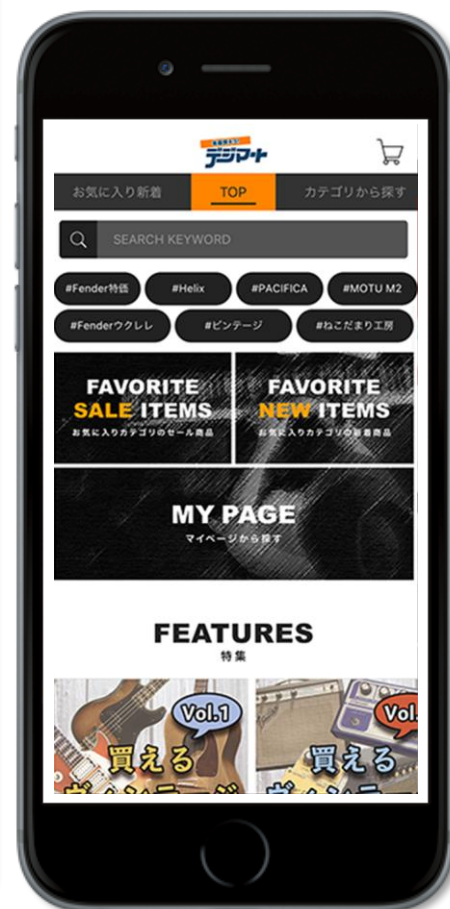
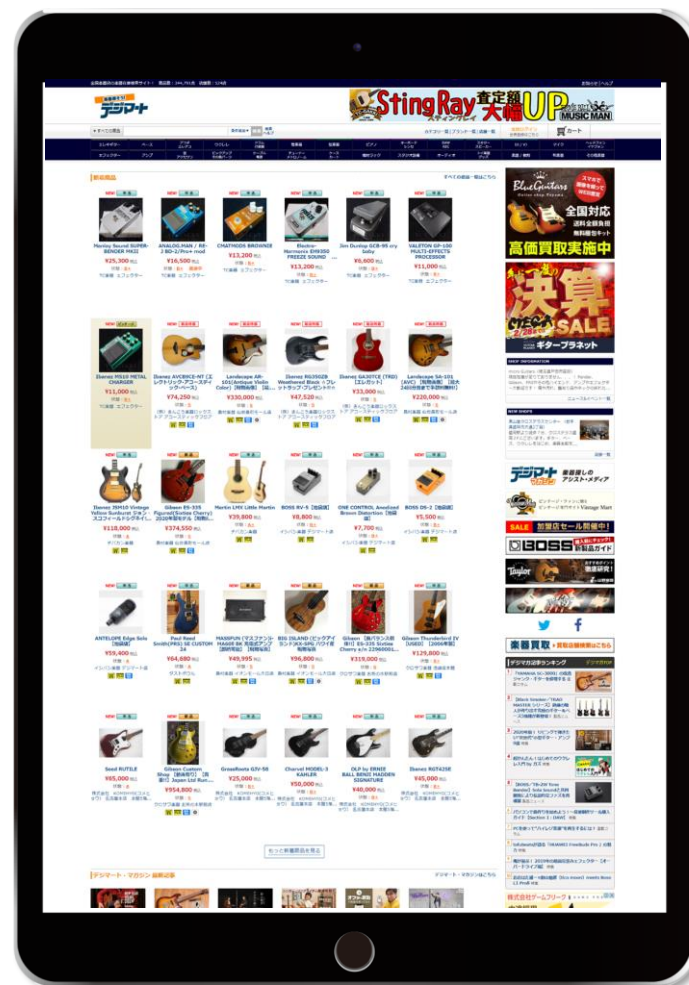


©株式会社デアゴスティーニ・ジャパン

企業・自治体等のSP・PRツール、Webサイト受託制作



# プラットフォーム事業



EC  
プラットフォーム



電子コミック  
プラットフォーム



出版流通  
プラットフォーム

# ※21年8月に子会社化したイカロス出版の概要

## ■特徴

月刊誌『エアライン』をはじめとする航空関連を軸に 40 年の歴史を持ち、陸海空、旅行、防災の各分野で専門性の高いコンテンツを提供している出版社

## ■株式取得の理由

- コアなファンを有する競争力の高い専門コンテンツ分野の拡大
- イカロス出版の企画編集力に当社グループ内のリソースを効果的に活用したメディアミックス展開により、ファンコミュニティの構築、電子出版、Web サービスや法人向け事業等の開発で事業価値の向上を図る。



# ※21年8月に子会社化したイカロス出版の概要

## ■主な出版物

### 航空



### ミリタリー



### 鉄道



### 防災その他

